

總聯合の政治運動の方針は、端的に示せば左の四項である。

- 一、國體を尊重し、國情に即して運動するもの
  - 二、資本主義打倒とその政治的目標とするもの
  - 三、統制經濟を実現し権取の發能を期するもの
  - 四、労働組合の政治的要求を遂行し、労働組合の擴大強化に役立つもの
- これである。

しかし乍ら今日、日本の有様、無差を通じて既成政黨には、この四大要項を遂行し得る政黨はないやうである。

この四大要項は、日本の世界に於ける地位と労働階級の經濟的立場を認識するときどうしてと缺くことの出来ぬ要項である。

だが今日の日本の労働組合の實力とこの状態の下に、労働組合としての使命を第二義的として、かゝる黨の組織を第一義と考へるべき時ではない。

従つて總聯合は、現下の時局に處して労働組合の使命遂行を第一義とし、黨と總聯合

各自らの責任に於て活動する如きはしばらく差控へることとしてゐるのである。

従つてその改善の策として、この四大要項に近き綱領を有する政治結社と連繫と持つことが妥當とされ、そこに未だ公式の支持關係はないのであるが、創立當時の事情等よりして、新日本國民同盟とは種々關係するところ多いのである。

しかるに其後同盟と總聯合に距離を生ずるところあつたので、三月十八日大阪に開かれたる中央執行委員會の決議を以て同盟に質すところあつたが、同盟はこれを諒としたので、前述四大要項を名実共に行ひ得る黨たらしむるべく努力する方針である。

但し四大要項遂行のため同盟に囚はれることなく中央部は善處し、全組合員はその中央部の統制を堅くすべきである。

#### 選挙戦その他政治部の活動

本年度に於て選挙戦に臨んだものは比較的少いが、昭和七年十一月東京區會選挙に瀬下勘内、守野信次郎両君立候補、いづれも當選した、續いて八年十一月、皆川利吉君また東京區會選挙に立候補し、これもまた當選した。